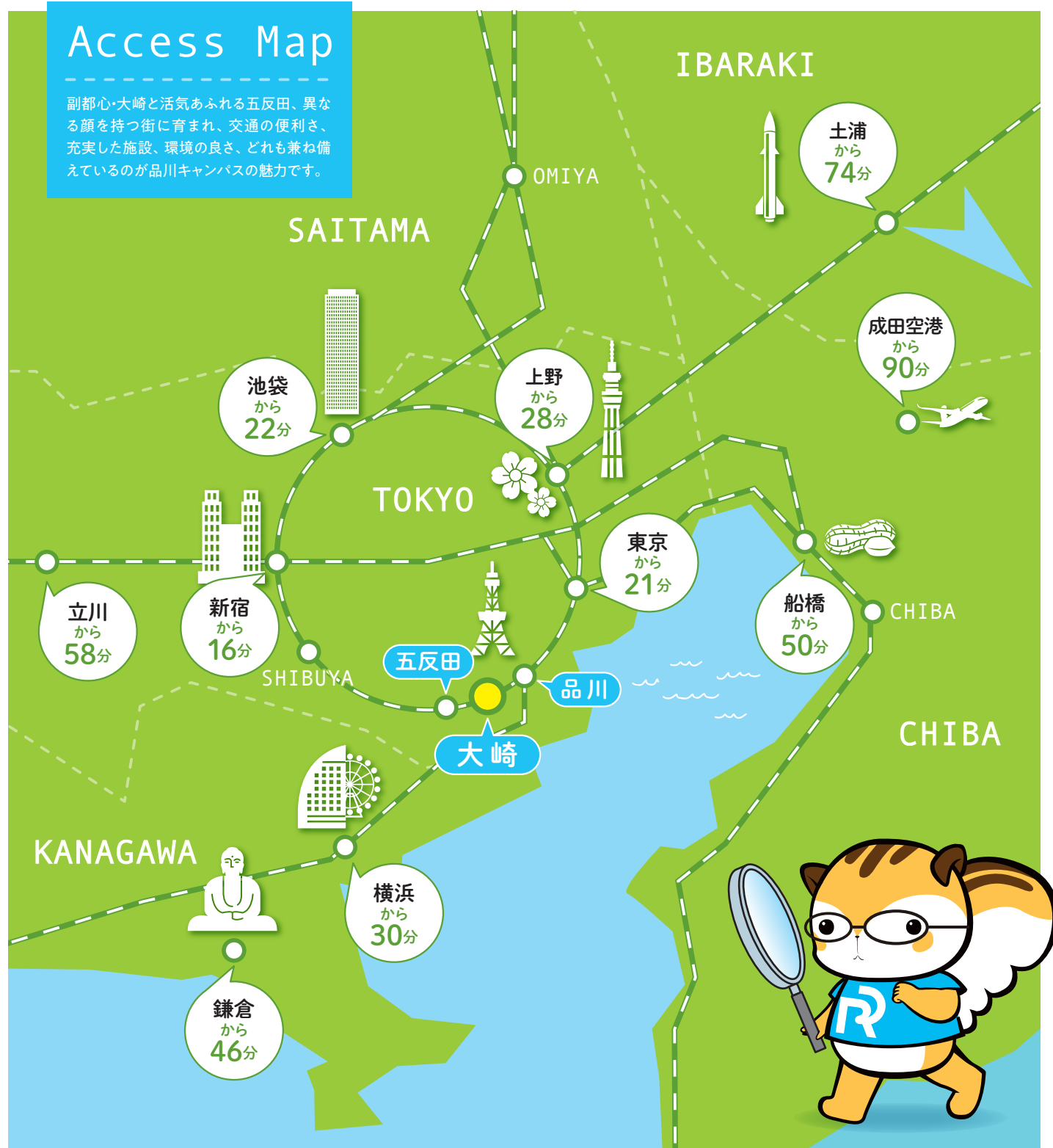


## Access Map

副都心・大崎と活気あふれる五反田、異なる顔を持つ街に生まれ、交通の便利さ、充実した施設、環境の良さ、どれも兼ね備えているのが品川キャンパスの魅力です。



# 立正大学

「モラリスト×エキスパート」を育む。

お問い合わせ先

〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16

〔立正大学入試センター〕

TEL.03-3492-6649 FAX.03-5487-3347 E-mail exa@ris.ac.jp

〔法学部事務室〕TEL.03-3492-3183

〔立正大学ホームページ〕<https://www.ris.ac.jp/>

法学部ホームページ

<https://law.ris.ac.jp/>



**立正大学**  
「モラリスト×エキスパート」を育む。

# 法学部



# 2027



未来につながる  
法的思考力  
リーガルマインド



# 「モラリスト×エキスパート」を育む。

法学部法学科は、その学士課程教育プログラム（正課外のものも含む）を通じ、持続可能でより良い豊かな平和社会を築くための芯となる、法学分野における「モラリスト×エキスパート」を養成することを教育の目標とします。

## 法律とその読み解き方を基礎から無理なく修得

### Profile

とも だ ひろ ゆき  
法学部長 友田 博之

学部時代は商法ゼミに所属し、会社法や手形法を研究しましたが、大学院からは本当に好きな学問を究めたいと思い、刑法を専攻しました。体系的論理性を追求するドイツ刑法学に魅せられてずいぶん経ちますが、刑法を素材にみなさんと語り合えるのを楽しみにしています。

法学部は「難しそう」「カタイ」「法律家を目指す人のための学部」と見られがちです。しかし、これはあくまでイメージに過ぎません。実際にはどこの法学部でも、法律の専門家をを目指す学生は全体の1割ほどで、8割以上は公務員、金融・不動産、メーカーや商社の法務、コンサルティング、マスメディアなど幅広い分野に就職しています。法律の知識は、行政運営や企業活動、社会生活のあらゆる場面で不可欠なため、法学部での学びは多様なキャリアに直結しているのです。

特に公務員は、裁判所職員や警察官などの特別な職種はもちろん、国・地方自治体の一般行政職員に至るまで、法律の理解のもとに仕事をを行います。学部生時代に十分に時間をかけて法学を体系的にじっくり学ぶことで、公務員試験対策のみならず、奉職後の政策立案や行政運営で求められる能力を無理なく身につけることができます。近年は少子化を受けて、民間企業が売り手市場となっているため、公務員試験の合格率が上がり、法学部進学の特長が

一層高まっています。

また、「法律解釈学」は、社会で暮らすために欠かせない「ルールの読み解き方」を学ぶ実践的な学問です。相続や離婚といった身近な問題から、企業経営や国家の仕組みまで、法律は社会のあらゆる場面を支えています。ですから、法解釈を学ぶことで身につく「問題点を的確に見抜き、法を用いて解決する力＝リーガルマインド」は、一生役立つ知的スキルであり、どんな分野でも応用できる“社会を生き抜くためのリテラシー”といえるのです。

立正大学法学部では、この「法律解釈学」をわかりやすく伝えるため、2年次からの専門ゼミや特修演習などで、少人数教育を徹底。各分野に精通した優秀な教員陣が丁寧に指導します。法学部独自のインターンシップやフィールドワークも充実しています。

人生の中でも特に貴重な4年間で、みなさんと共有できることを願っております。

### 立正大学法学部の入学者受け入れの方針

アドミッション・ポリシーについて、詳しくはホームページをご覧ください。



### 実はやさしい「法学」のハナシ

詳しくはこちら▶



## 学びの領域 3コースから自分の進路に合った学びを選べる

### 社会公共コース

#### 公的機関等における法律を学ぶ

国や地方自治体の運営のために必要な知識を修得します。国家・地方公務員、警察官、行政書士等の士業をめざす人に最適なコースです。教員や団体職員に役立つ知識も学べます。

#### KEY WORD

#人権 #ジェンダー #犯罪学  
#国際社会 #社会保障 #環境  
#公共政策

### ビジネス法コース

#### 社会に必要な法的知識を修得

契約、財産関係、会社や労働問題等、市民生活に不可欠な知識を修得し、民間企業への就職や起業に必要な法的知識を身につけ、実践的な応用力を養います。

#### KEY WORD

#企業取引 #金融・保険  
#危機管理 #契約 #消費者  
#知的財産 #労使関係

### 特修コース

#### 双方向で多様な価値観を学ぶ

教員と学生との双方向スタイルで行う少人数での演習の機会を多く設けているコースです。ディスカッション等で多様な価値観に触れ、法学における多角的思考やバランス感覚を修得します。

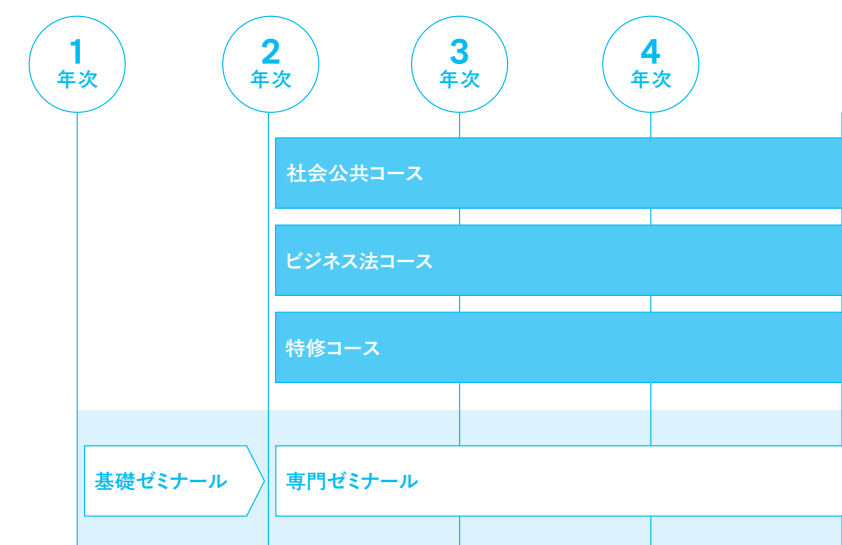
#### KEY WORD

#人権 #公法 #私法 #訴訟手続  
#司法試験(法科大学院) #国家公務員  
#判例研究 #展開演習

## 法学部の学び

1年次に全員が履修する「基礎ゼミナール」では、大学での学び方や法学分野の学修方法などの基礎を固めます。同時に基本的な法律科目を履修していき、これを通して見出した興味関心や将来の展望、学修スタイルの希望に応じて、2年次から所属するコースを選択します。

1年次冬期にはこのコース選択と並行し、2年次から始まる専門ゼミナール(ゼミ)の選択・選抜に臨みます。ゼミでは当該分野の学びを深めるとともに、フィールドワークやグループワーク、ゼミ合宿の企画などを通して、実践力やコミュニケーション力を磨き、法的思考力(リーガルマインド)と社会で活躍するための力を養います。



### 学生の声

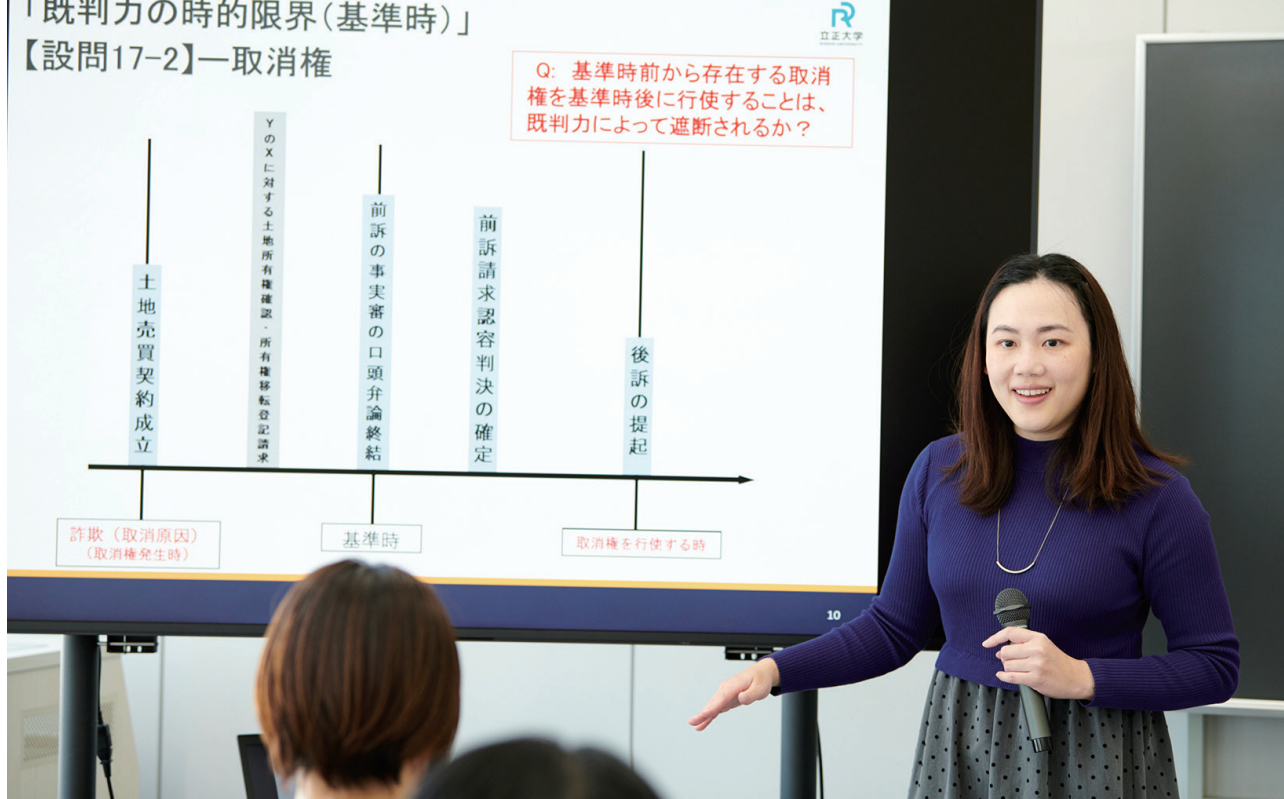
#### コース選択の体験談

### 効率良く学べて、知識の幅が広がるのがコース選択の魅力

法学部 3年 M. S. さん

1年次に履修した憲法の授業がきっかけで、法がどのように社会の仕組みを支えているのかに強く関心を持ち、より深く学びたいと考えて社会公共コースを選択しました。教員免許の取得を目指しているため、免許取得に必要な知識が効率よく修得できる点も魅力に感じています。実際にコースの科目を履修すると、当初のイメージより難しい内容もありますが、法の歴史を学んだり、NPOやジェンダーなど身近な社会問題と法との関わりを考えたりする授業が多く、幅広い知識を身につけられていると実感しています。こうした学びを通して、自分で考える力も確実に養われています。社会公共コースの選択者は、教員や公務員を目指している人が多いため、お互いに刺激を受けながら学びを深められています。





## 法学部ピックアップ授業①

# 「民事訴訟法」

## 身の回りの争いを解決するための、法的な手続き(ルール)を知る



Choru Chawrit Kanopan 特任講師

2023年より現職。博士(法学)。専門分野は民事手続法、主に民事訴訟及び裁判外紛争解決制度(特に仲裁制度)を研究。講義では民事訴訟法と民事執行・保全法を担当。主要論文として、「仲裁における保全処分の研究」等。

## 民事問題解決のために定められた“裁判の進め方”に関する法律

「裁判」や「事件」と聞くと、多くの人は、殺人や強盗などの刑事事件を思い浮かべるかもしれません。しかし、ネットショッピングなどのオンライン取引をめぐる問題、アパートの賃貸借をめぐるトラブル、交通事故による損害賠償など、私たちの日常生活と密接に関わる事件は、刑事紛争よりも、むしろ民事紛争です。ドラマで取り上げられることは少ないものの、多くの紛争は実際に「民事裁判」という手続によって解決されています。

民法・商法などの実体法上の権利義務や法律関係の問題が裁判となった場合、それらの問題をどのようなルールに基づいて解決・実現していくのか、といった裁判手続を定めたものが「民事訴訟法」です。具体的には、「裁判手続をどのように進めるのか」「当事者と裁判所の役割分担をどのように整理するのか」「証拠をどのように収集するのか」、さらには「当事者間の主張に食い違いがある場合、裁判所はどのように事実を確認するのか」など、紛争解決のための手続的枠組みが規定されています。

民事訴訟法の授業では、こうした手続法特有の基本原則や構造を学び、民事紛争が起きたとき、裁判という手続を通じて、どのようにその問題を解決していくかを体系的に学びます。また、単なる条文の理解だけでなく、判例や具体的な事例を素材にすることで、「訴訟手続が現実の問題に対してどのように適用されるのか」を考える授業構成になっています。たとえば、「当事者が主張していない事実が明らかになった場合、裁判所はどのように、どこまで判断できるのか」「事実の真偽が不明となった場合、裁判所はどのように判断すべきなのか」「一回の訴訟で負けた者は、もう一度裁判を起こすことができるのか」といった問題を検討します。

## 法律家に必須の、論理的思考力が鍛えられる授業

法律の世界では、一つの論点について複数の考え方(学説)が存在することが多く、必ずしも「唯一の正解」があるわけではありません。したがって、大切なのは、回答そのものを探すことではなく、どのような理論構成によってその結論を導くのか、という“思考のプロセス”なのです。

「民事訴訟法」は、「民訴(みんそ)」と省略して呼ばれますが、学生の間では「眠りの素」という意味の「眠素」と揶揄されることもあるほど、難しそう、つまらなそう…という印象を持たれがちな科目です。

確かに、民事訴訟法は民法などの実体法のように「権利がある・ない」といった直感的な結論を扱う法律ではありません。「どのような手続をとったうえで、その判断に至るのか」という、判断過程そのものを規律する法律であるため、初学者にとっては理解しにくい部分が少なくありません。しかし、手続のあり方いかんで結論が変わりうるため、何らかの判断に至るまでの手続は、実は非常に重要な意味をもっています。

「眠素」といわれるほどなじみにくいと思われていても、そこには手続法固有の基本原則・原理があり、それを理解することは、法律実務家として求められる「法的思考力」の養成につながります。また、法律の世界に限らず、現代社会ではさまざまな場面で

「物事を論理的に考える力」が求められます。ですから、「論理的思考力」を身につけておけば、幅広い分野で活用することができるのです。

難しそうに見える科目だからこそ、学び進めるほどにその面白さが感じられるはずです。民事訴訟法の学習を通じて、手続の持つ意味や重要性を理解し、法律が社会でどのように機能しているのかを実感してみませんか。



## 裁判で生じる現実を知ることができ、将来、必ず役に立つ知識が身につく

中学生のころから、テレビドラマなどで活躍する弁護士に憧れ、法学部に進学しました。弁護士を目指すため、卒業後は法科大学院への進学を予定しています。「民事訴訟法」は大学院受験でも必須ですし、弁護士として身につけておくべき学びのため、履修しました。

授業で扱う内容は難しく、ついていけない不安も大きかったです。でも、先生との距離が近く、授業後に質問もしやすい雰囲気だったため、少しずつ理解を深めることができました。民事訴訟の内容は、学生では経験していない事柄も多いのですが、少しでも自分ごととして考えられるよう、もし自分が訴えられるようなことがあったらどうするべきかと、シミュレーションしながら授業を受けるようにしていました。

法学部 3年 W. S. さん (千葉県立君津高等学校出身)







## 法学部ピックアップ授業②

# 「矯正保護実務フィールドワーク」

## 理論と実務の交錯が フィールドワークの醍醐味

立正大学法学部には、他大学にはあまりない特徴があります。それは全国的にも珍しい、犯罪をした人たちの処遇や社会復帰を担う刑事施設や保護観察などを学べるカリキュラムが充実していることです。ほかにも民間だけでなく公務員の具体的な業務が間近で学べるフィールドワークもあります。

フィールドワークの内容はとても豊富です。フィールドワークで体験できる業務は、士業業務、国会議員秘書、市役所、民間企業など幅広く、将来、公務員を目指す学生だけでなく、民間を目指す学生にとっても、大学生のうちに職業への理解を深める貴重な機会となっています。

私が担当する「矯正保護実務フィールドワーク」も、一般社会は



まるやま やすひろ  
丸山 泰弘 教授

博士(法学)。日本犯罪社会学会理事、日本司法福祉学会理事。龍谷大学矯正・保護総合センター博士研究員などを経て現職。近刊に『死刑について私たちが知っておくべきこと』(筑摩書房)。メディアにも多数出演中。

Profile

もちろん他大学でも経験が難しい、非常に特徴的なカリキュラムの1つであると言えます。この授業では、刑務所や少年院、保護観察所などの現地へ実際に赴き、最前線で活躍されている刑務官や法務教官、保護観察官たちと意見交換をしたり、施設を参観させていただいたりします。

座学が重要なことはもちろんです。フィールドワークの学びは、それに加えて、座学で得た知識が現場でどのように活かされているのかを、自分の目で確かめることができます。また、訪れた現場で自分は何を学びとるのか、現場だからこそ見えてくる、社会の中で解決すべき問題とは何かに向き合い、一緒に考えを深めていきます。

## 法学部ピックアップ授業③

# 「基礎ゼミナールI・II」

## 法学部生に必須の基礎知識や スキルを仲間とともに修得する

基礎ゼミナールI・IIは、初年次教育の一環として行われる、クラス担任制の授業です。大学の学修では、「正解のない問題」にたくさん出会います。そうした問題に取り組むには、自ら考え、調べ、発信し、議論する力が求められます。これらの力を身につけるためには、何度も“実践”を重ねることが重要です。この授業では、文献購読やディベートなどの様々な手法を用いながら、法学部生に求められる基礎的な知識やスキルに加え、2年次以降の専門的な学修に向けたアカデミック・スキルについて、仲間とともに修得することを目指します。

授業では、教員による一方的な知識の伝達ではなく、グループワークを通じた学生間の対話の機会を大切にしています。入学当初は学業のみならず人間関係の構築に不安があるかもしれま



やまなし こうき  
山梨 光貴 准教授

2024年より現職。博士(法学)。専門分野は犯罪学、主に犯罪者の社会復帰支援を研究。講義では犯罪学と少年法を担当。主要論文として、「重要な他者―関係性の構築と犯罪からの離脱」等。

Profile

せんが、1クラス25～30名程で構成される本授業では、ともに学ぶ仲間との親睦を深めることができます。同時に、学生に対する教員の問いかけも重視しています。教員からの「正解のない」問いかけに最初は困惑する学生も多いですが、1年間かけて段階的に学びを深めていくうちに、「法律のココが気になる!」「この分野の法律が好き!」と、その人らしい関心を見つけれられるようになります。

本法学部は、専門分野に特化したゼミナール(演習型授業)が“2年次”から始まる点が特徴です。自分が学びたい専門分野の学修・研究に2年次からスムーズに移行できるよう、基礎ゼミナールは「学修・研究のための体力づくりの場」としての意味も持っています。

## 机上で終わりがちな議論を 深く掘り下げるために不可欠な経験

小学校の同級生が少年院に入った経験から、少年犯罪にかかわる職業につきたいと考えて法学部に進学しました。ゼミで、非行少年の社会復帰などを支える法務教官という仕事を知り、将来は少年院で働きたいと考えています。「矯正保護実務フィールドワーク」の授業があったのは8月末の5日間で、その間に少年院、刑務所、保護観察所、更生保護施設を訪ねました。特に少年院では、施設で働く人たちが想像以上に真剣に子どもたちと向き合っていて、自分もそこで働く一員になりたいと強く感じました。講義だけでは、議論がどうしても理想論になりがちです。現場を見ることで、施設ごとの特徴や抱えている現実的な問題点にも気づくことができるので、非常に有益な授業だと思います。

法学部 3年  
A. H. さん  
(埼玉県立越谷西高等学校出身)



## 法学部で必要な思考の仕方や 他者の意見を受け入れる素地が固まる

高校の社会の授業で男女の不平等問題に触れたことをきっかけに、憲法や法律に興味を湧き、法学部に進学しました。入学前は六法全書を丸暗記する授業を想像していましたが、答えがない問題に対し自分の意見をまとめる機会が多く、法学の見方が変わりました。

基礎ゼミでは、「天使の世界に法は必要か」「私語禁止の場所でどこまでの発話が許されるか」といった問いに対し、グループで話し合いました。他者の発想に納得したり驚かされたりと、刺激になりました。ディスカッションを繰り返したおかげで、考えるプロセスが身につきました。また、論文検索や論文執筆の基礎知識、参考文献の記載方法なども学びます。基礎ゼミのおかげで、他の講義でこうした内容が出ても、スムーズに理解することができています。

法学部 1年  
H. N. さん  
(旭丘高等学校出身)





法学部の4年間を先輩たちはどのように過ごしたのでしょうか。  
新たな未来に向かって一歩を踏み出した先輩たちからのメッセージを紹介します。

公務員



## 自分の性格を考慮して、 専門性の高い職種を選びました

法学部 4年  
**S. M. さん**  
(埼玉県立入間向陽高等学校出身)

就職先 **さいたま地方裁判所**

高校時代から政治経済や歴史が好きだったので、法律の面から社会を知ろうと思い、法学部に進学しました。1年次に参加した「業界セミナー」で裁判所事務官という仕事を知り、専門性の高い仕事が自分には向いていると感じ、将来の目標に決めました。ゼミは、公務員志望者が多い「法政策学ゼミ」を選びました。公務員に合格した先輩方のお話を伺えたほか、ゼミの先生には就職活動で支えていただきました。また、学園祭実行委員会の活動で他学部など、多くの人と交流したことで、コミュニケーション能力ができました。

就職先では、裁判所事務官として、来庁者や証人尋問でいらした方の対応、裁判の準備などを行います。大学で培ったさまざまな力を最大限に活かし、いずれは裁判所書記官(法廷での手続きややりとりを調書に記録する専門職)を目指し、経験を積んでいきたいです。

## 大学で開講されている公務員講座を 友人と励まし合いながら受講

法学部 4年  
**F. K. さん**  
(千葉県立我孫子高等学校出身)

就職先 **台東区役所**

中学生のころから警察官に憧れていて、警察・消防コースがあった立正大学法学部に入りました。ゼミで先生の講義を聞いたり、法学部主催の公務員試験対策課外講座で自分の適性を探ったりするうちに、窓口業務に向いていると感じ、最終的な就職先として区役所を選びました。公務員講座の授業は難しい内容も多く、挫折しそうになりましたが、友人たちの存在が大きく、最後まで取り組むことができました。

将来は、区役所で区民みなさんの健康増進に携わる仕事がしたいと思っています。というのも、親戚が大病を患ったことがきっかけで、健康の大切さを実感したからです。ゼミの模擬裁判やディスカッションなどで培ったコミュニケーション能力をしっかり活かし、全世代の健康を守るような仕事をしたいです。

公務員



## 県という大きな行政の枠組みの中で 県民の生活を支える業務に貢献したい

就職先 **埼玉県庁**

公務員



法学部 4年  
**A. H. さん**  
(埼玉県立所沢中央高等学校出身)

法学部 4年  
**S. R. さん**  
(埼玉県立熊谷女子高等学校出身)

法学部 4年  
**H. A. さん**  
(埼玉県立桶川高等学校出身)

同じ「刑法ゼミナール」に集い、「法学部主催課外講座 公務員本講座」を受講し、切磋琢磨して埼玉県庁への入庁を決めた3人

## 法学部に進学した理由と、学生時代に印象に残っていること

- S. R.** 法学部なら就職時に公務員も民間も目指せて将来の選択肢が広がると思って選びました。大学時代は、夏休みにイギリス留学をしたり、副ゼミ長としてゼミを支えたりと、充実していました。
- H. A.** 安定性を考えて、高校時代から公務員志望でした。法律は社会のルールだと思っていたので、将来役に立つ知識が身につくと考えました。入学してみると、法学はルールの暗記ではなく、ルールの使い方を身につける学問だった点が意外でした。ゼミで取り組んだ模擬裁判は、テーマ選びから台本づくり、撮影まで、皆で協力して取り組んだので、印象に残っています。

## 就職活動では、どのようなサポートを受けたか

- A. H.** 法学部主催の公務員試験対策講座と、独学をうまく組み合わせて、効率的に勉強することができました。講座の受講料がとても安くて、ありがたかったです。
- S. R.** 最初は民間も視野に入れていましたが、ゼミの先生のアドバイスもあり、就活を公務員に絞りました。おかげで集中して試験対策ができました。面接練習や面接カードの添削もいただきました。

## 将来の目標

- A. H.** 仕事に誠実に取り組むことはもちろんですが、自分の時間も大切にできる働き方をしたいです。
- H. A.** 体調管理に気をつけながら、“普通”のありがたみを大事にできる社会人になりたいです。
- S. R.** 教員として働く姉の姿を見ているので、私は県庁の職員という立場で、教育現場をよりよく改善する仕事に関わりたいです。





## 女性被害者の心に寄り添える 刑事を目指す

法学部 4年  
K. Y.さん  
(明法高等学校出身)

就職先 神奈川県警

小学生のころから、刑事ドラマなどを通して警察官に憧れ、剣道を習うなど、準備をしてきました。高校3年生の時に痴漢にあった経験から、被害者に寄り添える警察官になりたいと強く思うようになりました。

立正大学を選んだのは、警察行政法など、警察に関連する法律を学ぶ機会が他大学に比べて多かったからです。また、法学部の公務員対策講座では、警察・消防コースが選択できます。ここで徹底して指導してくださったおかげで、苦手だった数的処理を克服できました。ゼミは、自分を律せられる環境におきたかったので、あえて「厳しい」と評判のところに入りました。遠方の県警も受験したのですが、地域ごとの特性を見ながらゼミの先生と、最終的に希望進路を選定しました。面接指導をしてくださり、とてもありがたかったです。

## 自分の性格に合う業界を選択

法学部 4年  
S. G.さん  
(東京都立美原高等学校出身)

就職先 野村不動産ソリューションズ株式会社

実は大学進学は考えていなかったのですが、高校3年生のときに東京都の弓道の大会で個人優勝し、その実績を活かそうと、進学を決めました。法律の知識はどの分野でも活かせる点と、じっくり思考できる点が魅力で法学部にしました。「入学時のスタートラインは皆一緒」と思っていたので、勉強に対しての不安はありませんでした。人前に立つのが苦手でしたが、ディスカッションやゼミ長として司会を担当したこと、複数のアルバイト経験を通し、4年間で大きく成長できたと感じています。2年次に法学部主催課外講座を受講し、3年次に宅建を取得しました。このほか就職活動では、とにかくインターンシップに参加しました。ゼミの先生にもこまめに相談に乗ってもらい、最終的には祖母や母と同じ不動産業界で働くことに決め、自分の性格や社風を考えた上で就職試験に挑みました。人として信頼される、誠実な社会人になりたいです。



民間企業

民間企業



## 自分の強みのコミュニケーション能力を活かし 会社経営を支える人財に

法学部 4年  
M. Y.さん  
(埼玉県立越谷南高等学校出身)

就職先 第一生命保険株式会社

国の成り立ちそのものに関係する「法」に興味を感じ、法学部に進みました。最も惹かれたのは、日常生活に直結する民法で、2年次以降は民法ゼミに所属しました。車のリコール問題に取り組んだときは、企業責任を立証する大変さが身に沁みました。マニアックな法律の話で盛り上げられる友人たちもでき、4年間楽しかったです。就職は、生命保険会社で働く親戚が、営業職の方の総括をするマネジメント職に就いている影響で、同じ道を選びました。卒業までにファイナンシャル・プランナー2級、日商簿記3級、ITパスポートを取得の予定です。立正大学法学部は資格試験講座が充実しているので、できる限り利用するのがお勧めです。将来はお客さまのみならず、同僚の人生も支えられる仕事がしたいです。

## 勉強、ビーチサッカー、アルバイトと、 4年間、全力で向き合いました

法学部 4年  
O. R.さん  
(船橋市立船橋高等学校出身)

就職先 株式会社マイナビ

法の知識はどんな分野でも役立つので、将来の選択肢が広がると思い法学部を選びました。小学生からサッカーを続けていて、大学入学前にビーチサッカーに転向。在学中に日本代表としてワールドカップに出場する機会を得ました。学問とスポーツの両立は本当に大変でしたが、友人たちの協力や先生方のサポートもあり、無事に乗り越えることができました。また、種々のアルバイトを通して、視野を広げられました。就職活動では、キャリアサポートセンターが推奨していたマイナビのサービスを利用したことがきっかけで、誰かを支える側の仕事に惹かれるようになりました。自分のように、スポーツと仕事を両立させたいなど、さまざまな希望に沿う就職支援をしていきたいと思っています。



民間企業

民間企業



## 法律の知識を活かした、 わかりやすい番組の制作を

法学部 4年  
B. A.さん  
(東京都立城東高等学校出身)

就職先 株式会社すずまる

小学生のころからメディアに興味があり、近所で募集していた、出版社と大学教授が企画した「子供向けの法学ゼミ」に参加したこともあり。大学受験では経済学部と法学部に合格できたので、過去の経験も活かせると思い、法学部に進みました。大学時代は、価値観が近い友人たちや、親身になってくださる先生方に出会い、支えていただきました。特にゼミの先生には、どうしてもテレビの制作会社に就職したくて焦っていた時期に、親身になってアドバイスをいただき、心が軽くなりました。就職が決まった会社はテレビ番組の制作会社です。ニュースや情報番組のフロアディレクターとして活躍できる機会があるので、大学で培った、他者の意見を聞く力や、ニュースの裏側を見る広い視野などを活かして働きたいです。





## 法学の知識を活かし、 生活を支える金融の道へ

法学部 4年  
N. H. さん  
(神奈川県立港北高等学校出身)

就職先 株式会社神奈川銀行

授業はある程度難しいだろう、と覚悟して法学部に進みました。1年次のうちは専門用語などに戸惑うこともありましたが、例えば憲法の授業は基礎から噛み砕いて説明してもらえ楽しく学べました。また、相続や不動産問題、そのほか身近な問題を取り扱う民法にも惹かれ、2年次からは民法財産法ゼミに所属しました。学びを深めていく中で、特に担保法や金融商品取引法に興味を持ち、銀行業界への就職を目指すことにしました。内定をいただいたあとは更に知識を深めるため、簿記やFPの資格を取得しました。法学部で学んだ知識や資格、問題解決能力を活かして、常に成長し続ける社会人を目指します。

## 目標を早く見つけたことで 広がった視野

法学部 4年  
A. T. さん  
(千葉県立千葉商業高等学校出身)

就職先 株式会社千葉興業銀行

高校時代から資格試験に挑戦することが好きで、日商簿記2級や全商簿記はすでにとっていました。入学当時は社会保険労務士を目指していたので、資格試験を強力にサポートしてくれる立正大学法学部に進学しました。将来のことを考え、会社法ゼミに所属しましたが、そのゼミで株主総会や会社設立など、自分が今まで目を向けていなかった世界に触れて視野が広がりました。就職では、自分が本当に目指す職種に出会うまで少し時間がかかりました。最終的に銀行を選んだのは、近年の少子化などで廃業するお店を金銭的に支えたり、M&A※で事業継続のお手伝いをしたいと考えたからです。自分が大好きな地元の飲食店を陰で支えられたら嬉しいです。今後は、大学で得た知識を活かして、他者を支える社会人になりたいです。

※Merger and Acquisitions(合併と買収)の略。企業の事業を継続させるための一つの手法



## 課外活動



## 政策が適切に機能しているか、 自分なりの意見を出す重要性を実感

法学部 3年  
F. R. さん  
(神奈川県立松陽高等学校出身)

活動場所: 品川区政策評価委員会

将来は財務省か国税庁での勤務を志していて、2年次から行政学ゼミに入りました。品川区政策評価委員会に参加したのは、ゼミの先生の勧めがあったからです。これは、学識者、学生代表、区民代表、区役所職員などが集まり、さまざまな立場から区の政策を評価するもので、年間で2回開催されます。評価委員会に参加し、資料を読んだり、他者の意見を聞いたりしたことで、これまでいかに机上で理想論を語っていたのかを痛感しました。たとえばスポーツ政策一つをとっても、施設利用者の多様性、使える予算、費用対効果など、あらゆる方面への配慮が必要で、採算性についても十分に検討することが求められます。委員会では1人の利用者として感じたことを述べるように意識しました。この経験は、政策の実態を知る良い機会になりました。

## 総合型選抜とは

法学部の総合型選抜は、豊富な知識だけでなく、粘り強く取り組む姿勢や他者と協働する経験、入学を希望する動機や基礎学力など多様な視点で受験できる3形式を用意しています。これまでの経験や熱意、基礎学力などを入学後の学びへ活かしていける方の受験をお待ちしています！

### 活動評価型 (レポート方式)

高校時代を通じて、  
継続的活動に取り組んだ経験を  
活かす入試

### 探究実践型 (ゼミナール方式)

探究活動と、議題について  
グループで1つの提言を  
まとめていく力を  
活かす入試

### 基礎学力テスト型

入学希望理由および  
基礎学力テストの結果を  
活かす入試

## 学生の声

## 自分自身を見つめ直した経験は、 進路選択後も自分の支えになります

活動評価型入試 法学部 1年 H. N. さん

高校2年の冬に、「活動評価型」で受験することを決めました。入学試験要項の公開以降、提出書類を何度も推敲し、面接の2週間前からは予想問答カードを自作して対策を重ねました。提出書類には主に「総合的な学習の時間」のグループワークと、英検準二級の対策勉強を通して得た強み・弱み、そして価値観についてまとめました。他の受験生と比較して不安になることもありましたが、自己理解を深めるうちに探究したい分野が明確になり、自分の長所にも気づくことができました。その積み重ねが自信となり、落ち着いて受験に臨むことができたと感じています。

自分を見つめ直す経験は、さまざまな場面で大きな力になります。少し立ち止まって、自身と向き合う時間を大切にしてみてください。

## 表面的なディスカッションではなく、 真摯な取り組みが評価の鍵です

探究実践型入試 法学部 1年 T. M. さん

私が受験したのは探究実践型の実施初年度だったので、オープンキャンパスなどでも経験談を伺う機会がなく、手探りで準備しました。グループディスカッションを行う2次試験で評価されるのは、取り組み姿勢だったと感じました。良い評価を得るためだけにディスカッションの準備をするのではなく、事前調べを含めてそのテーマ自体に意欲的に取り組むようにしてください。

立正大学に入学して1年が過ぎましたが、自由な時間が多い分、自分で勉強の計画を立てなければいけないなどの責任も増えました。一方で、素敵な友人と出会え、講義も興味深くとても充実した日々を送れているので、受験を決意して本当に良かったと思います。



## 法学部

法学部では、学部独自の取り組みで法学部生の希望の多い進路を中心にキャリア形成のサポートを行っています。

### 業界セミナー(1年次)

本学OB・OGを中心に、民間、公務員(行政職、公安)や士業など法学部生の志向する各分野の現職の方にお越しいただき、大学卒業後のキャリアについて考えるイベントを毎年実施中。

### 学修の基礎Ⅱ(2年次以降)

法学部の教育内容と受講生の将来のキャリア形成を結びつけるための基礎知識・技能習得を行う講義科目。

### 実務演習科目・フィールドワーク(FW)科目(3年次以降)

社労士実務演習や行政書士実務演習など実務家による演習科目は、当該資格を目指している学生はもちろん、これらの業務に関心があるかいは実社会での法律の活用方法をより詳しく強いたいという学生に向けた内容を展開。士業実務FW、矯正保護実務FW、公務員実務FW、国会議員秘書FW、民間企業FWでは、学外の現場に出かけて実務体験や現場見学をすることで、当該分野における具体的なキャリアイメージをつかむことができる科目。

## 法学部主催 課外講座 (1～4年次)

### 資格取得を強力にサポートする課外講座

公務員採用試験や宅地建物取引士(宅建)、社会保険労務士(社労士)、行政書士など法学分野での学びを活かした各種試験・資格の合格を目指す学生をサポートするため、大学全体でのキャリアサポートに加え、法学部独自の課外講座を実施しており、平日夕方以降をメインに多くの学生が試験に向けて切磋琢磨しています。

#### 相乗効果

昼間に正課で法的思考力(リーガルマインド)を養い、夕方以降に課外講座で試験出題を意識した知識を学ぶことで、学問と実務知識の相乗効果が期待できます

#### 経済的メリット

大学の教室に試験対策のプロ講師をお呼びしているため、移動時間・交通費が節約できます。また、受講料も安価に設定しています

#### 継続学習の支援

所定の資格を取得すると、次の課外講座の受講料が割引になる制度があります

#### 奨励制度

所定の試験に合格・資格を取得した学生には奨励制度を設け、努力を高く評価しサポートします

※開講講座は年度によって異なります

### 学生の声

#### 法学部主催 課外講座

## オンデマンドを活用し、自分のペースで学習を進めました

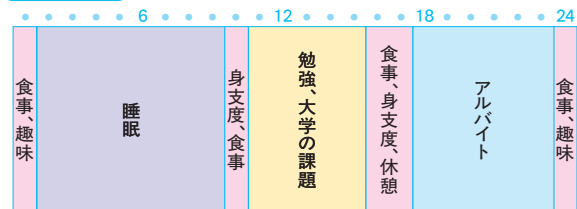
### 公務員入門講座(2年次)、公務員本講座(地上・国一コース)(3年次) 法学部4年 A. H. さん

2年次後期から、立正大学法学部主催の公務員試験対策講座を受講し、週に3～4回、講義を受けました。そのほか、最低でも1日3時間以上は勉強時間を確保し、自分の生活ペースに合わせて試験対策を進めました。私は、ルーティーンを組んで長時間机に向かうことが苦手なのですが、オンデマンド授業を活用することで、その日の集中力に応じて無理なく勉強を継続することができました。日々の自分の調子に合わせて学習の仕方をカスタマイズできるこの講座は、公務員試験合格になくはならないものだったと感じています。また、勉強で使用したルーズリーフやペンの芯、勉強時間などを記録して「努力を可視化」したことで、モチベーションを高く保ちながら学ぶことができました。

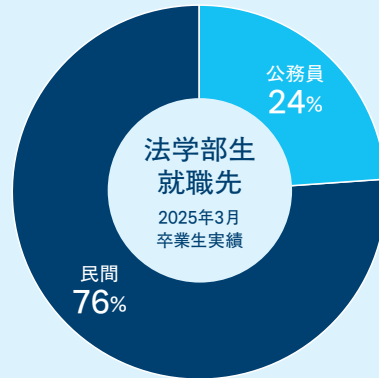
#### 講座受講日



#### 講座のない日



## 卒業後の進路



## これまでの主な進路・就職実績

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 官公庁                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 法務省／国土交通省／厚生労働省／総務省／防衛省／東京国税局(国税専門官)／財務省関東財務局(財務専門官)／東京労働局(労働基準監督官)／神奈川労働局(労働基準監督官)／千葉地方裁判所／東京地方検察庁(検察事務官)／さいたま地方検察庁(検察事務官)／東京都／神奈川県／千葉県／埼玉県／横浜市／川崎市／千葉市／さいたま市／品川区／渋谷区／中央区／世田谷区／文京区／練馬区／江戸川区／墨田区／葛飾区／足立区／江東区／流山市／松戸市／船橋市／川越市／越谷市／館山市／匝瑳市／警視庁／神奈川県警察／千葉県警察／埼玉県警察／群馬県警察／茨城県警察／東京消防庁／千葉市消防局／前橋市消防局／さいたま市消防局 |
| 金融・保険                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| (株)ゆうちょ銀行／(株)千葉銀行／(株)京葉銀行／(株)千葉興業銀行／(株)栃木銀行／(株)武蔵野銀行／(株)筑波銀行／(株)東和銀行／(株)香川銀行／(株)七十七銀行／auじぶん銀行(株)／大和証券(株)／東海東京フィナンシャルホールディングス(株)／いちよし証券(株)／むさし証券(株)／水戸証券(株)／日本生命保険相互会社／ジブラルタ生命保険(株)／朝日生命保険相互会社／太陽生命保険(株)／日新火災海上保険(株)／埼玉縣信用金庫／横浜信用金庫／川崎信用金庫／城北信用金庫／飯能信用金庫／(株)ジャックス                                         |
| 不動産・住宅                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 積水ハウス(株)／住友不動産販売(株)／三井住友トラスト不動産(株)／三井不動産リアルティ(株)／三井ホーム(株)／野村不動産アーバンネット(株)／東急リパブル(株)／スターツコーポレートサービス(株)／積和不動産(株)／(株)大京穴吹不動産／(株)タカラレーベン／(株)一条工務店／(株)オープンハウスグループ／ボラス(株)                                                                                                                                      |
| 製造ほか                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| (株)SUBARU／スズキ(株)／テルモ(株)／シスメックス(株)／(株)富士薬品／鳥居薬品(株)／東洋水産(株)／大建工業(株)／フランスベッド(株)                                                                                                                                                                                                                             |
| 運輸・流通・商社・サービス・情報通信                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 西日本鉄道(株)／日本郵便(株)／SGホールディングス(株)／青山商事(株)／(株)大塚商会／(株)三越伊勢丹／(株)松屋／(株)ベシニア／(株)ノジマ／(株)しまむら／(株)ニトリ／(株)イトーヨーカ堂／(株)ヤオコー／菱洋エレクトロ(株)／(株)モスフードサービス／ANAエアポートサービス(株)／日本ビューレット・パッカード(株)／(株)マイナビ／エンジャパン(株)／(株)帝国データバンク／富士ソフト(株)／(株)オービックビジネスコンサルタント                                                                      |
| 各種法人                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| さいたま商工会議所／日本私法支援センター(法テラス)／(学)立正大学学園／日本年金機構／(福)啓啓会／(福)泉陽会                                                                                                                                                                                                                                                |
| 進学                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 慶応義塾大学大学院／東京都立大学法科大学院／中央大学法科大学院                                                                                                                                                                                                                                                                          |

## 大学

立正大学キャリアサポートセンターでは全学部の学生を対象とした、ガイダンス・就活イベント・インターンシップ・キャリア相談・資格や試験対策課外講座を実施し、学生のキャリアをサポートしています。

### 学生の声

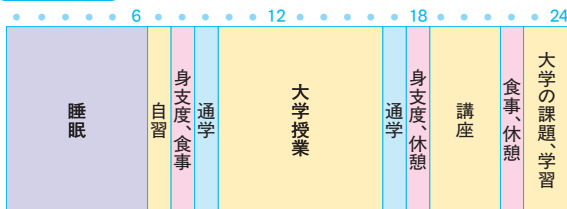
#### キャリアサポートセンター主催 課外講座

## 時間の有効活用を意識して学習に取り組みました

### 受講講座名:公務員1.5年合格コース 法学部3年 I. T. さん

2年次から受講をスタートし、3年次の夏からは本格的に力を入れ、週に3～4コマ受講しました。極力リアルタイムで講義を受けるよう努めましたが、通学やアルバイトで時間が合わない時もあり、オンデマンド視聴ができるのはありがたかったです。通学の電車で問題集を解いたり、大学へ行く前に早く起きて勉強したり、隙間時間や朝の時間を有効活用することを心がけました。放課後、友人とカフェに行って勉強するなど、場所を変えたり息抜きをしたりしながら学習を進めました。どこでも勉強ができるようにタブレットをノートとして活用し、空きコマや昼休みにも自習できるようにしています。

#### 講座受講日



#### 講座のない日

